

前身の富山医科薬科大学の建学の理念

「里仁為美」（りじんこれびとなす）

「仁の精神をもって人に尽くすことこそ美しい」という孔子の教え

医療人としての人格形成を重視し、  
思いやり・誠実さ・倫理観を備えた人材育成を  
目指す理念の伝統を受け継ぐ

# 2025 年度報告書

富山大学 医療人教育室

Report of 2025

Office of Medical Care Profession  
Education, University of Toyama

2026 年 4 月発行

# 富山大学 医療人教育室 2025 年度報告書 目次

室長ご挨拶 .....	1
薬学部長 松谷 裕二 .....	1
I 医療人教育室について .....	2
1. 教室概要 .....	2
2. 室員紹介 .....	2
3. 富山大学杉谷キャンパス医療人教育室の設置に関する内規 .....	3~4
II 各分野からの報告 .....	5
「よき医療人」となるために 医学科教務委員長 西丸 広史 .....	5
薬学生と「医療学入門」 薬学部教務委員長 宗 孝紀 .....	6
医療学入門と看護学教育 看護学科教務委員長 西谷 美幸 .....	7
III 2025 年度活動報告 .....	8
1. 医療人教育 .....	8
2. 医療人教育室運営管理	
1) 医療人教育室運営会議 .....	9
2) 広報活動 .....	10
IV 2026 年度活動計画案 .....	11

## 室長ご挨拶

富山大学杉谷キャンパスは、前身の「富山医科薬科大学」創立の理念「里仁為美」という「人に対する慈しむ心の教育」の伝統を、医学部・薬学部の強い連携により受け継いでおり、医療人養成のための医療人教育室が開設されています。本キャンパスの最大の特徴として、医学部（医学科、看護学科）、薬学部（薬学科、創薬科学科）、附属病院、和漢医薬学総合研究所が集まった、医療系総合キャンパスであることが挙げられ、「良き医療人」を育成するために相互に連携し合っています。特に、医学・薬学・看護学による多職種連携教育は、医療人教育の根幹であり、医療人教育室の重要な使命とするところです。

医療人教育室では、医学部・薬学部の学生の医療人育成教育、多職種連携教育の実践のため、1年次前期の「医療学入門」を担当しています。本科目では、アクティブラーニングを主体とした医療学研修（医療系4学科グループワーク、心肺蘇生講習、立山野外研修）や福祉医療施設での介護体験実習をはじめとして、多彩な教育内容が含まれており、医学・薬学・看護学の学生による合同での学びを行っています。また、医療人養成のための研修会や、国際交流に関連した人材養成にも関わってきています。

今年度の立山野外研修は好天に恵まれ、ここ数年の中でも最高のコンディションで実施することができました。室堂高原では、医看薬を混成した少人数グループを組み、それぞれ思い思いにグループ活動に取り組みました。みくりが池周辺や20メートル級の雪の壁がそそり立つ「雪の大谷」などを巡りながら、課題として与えられたバリアフリーなど障がい優しい設備の探索と写真収集を行いつつ、昼食などを通して医看薬の垣根を越えた親睦を図ることができました。ご協力を頂きました、全ての関係の皆様に、深く感謝申し上げます。

医療人教育は、今後ますます多様化、複雑化が予想される教育分野ではありますが、各種組織としっかりとした連携をとりながら、「良き医療人」の育成のために尽力していきます。関係の皆様には、引き続きご指導とご支援を賜りたく、どうぞよろしくお願い申し上げます。

医療人教育室長

松谷 裕二（薬学部長）

# I 医療人教育室について

## 1. 教室概要

医療人教育室は、学部教育、医療学教育、医療人教育、国際交流連携などの学務業務を全般に補完し、保健医療分野の人材育成を目的に以下の業務を行っております。

- (1) 学生の入学から卒業までの教育の一貫的な評価と支援に関する業務
- (2) 医学・薬学・看護学の共通教育に関連する業務
- (3) 医療人の教育・研修機会の提供に関する業務
- (4) 医療・福祉に係わる教育資源の開発、維持、充実にに関する業務
- (5) 国際交流に関連した人材育成に関する業務
- (6) その他医療人教育に関する業務

## 2. 室員紹介

室長	松谷 裕二	薬学部長、(薬学) 薬品製造学 教授
副室長	高村 昭輝	(医学) 医学教育学 教授
室員	中野 実	薬学部副学部長、(薬学) 生体界面化学 教授
	西丸 広史	医学科教務委員長、(医学) システム情動科学講座 教授
	西谷 美幸	看護学科教務委員長、(医学) 基礎看護学 1 教授
	宗 孝紀	薬学部教務委員長、(薬学) 分子細胞機能学 教授
	石木 学	保健管理センター (五福) 教授

### オブザーバー

武島 健人	(医学) 医学教育学 特命助教
松田 高典	杉谷地区事務部学務課
畠山 美希	杉谷地区事務部学務課
大坂 理美	杉谷地区事務部総務課
森本 ひより	杉谷地区事務部学務課

### 事務補佐員

島崎 真奈美

### 3. 富山大学杉谷キャンパス医療人教育室に関する内規

#### (目的)

第1条 富山大学杉谷キャンパスに、医学、薬学及び看護学の連携の基に医療分野の人材育成を体系的に進めるため、医療人教育の組織化を図ることを目的として、医療人教育室を置く。

#### (組織)

第2条 医療人教育室は、次の各号に掲げる室員をもって組織する。

(1)室長

(2)副室長

(3)医学部教授会及び薬学部教授会（以下、「各教授会」）から選出された教員 若干人

(4)その他室長が必要と認めた者

2 室長は、医学部長又は薬学部長をもって充てる。

3 副室長は、第1項第3号及び第4号の室員のうち、室長が指名する者をもって充てる。

#### (室員の任期)

第3条 第2条第1項の室員の任期は1年とし、再任を妨げない。ただし、欠員が生じた場合の後任の室員の任期は、前任者の残任期間とする。

#### (業務)

第4条 医療人教育室は、次の各号に掲げる業務を行う。

(1)学生の入学から卒業までの教育の一貫的な評価及び支援に関する業務

(2)医学、薬学及び看護学の共通教育の連携に関する業務

(3)医療人の教育及び研修機会の提供に関する業務

(4)医療及び福祉に係る教育資源の開発、維持及び充実にに関する業務

(5)国際交流に関連した人材育成に関する業務

(6)その他医療人教育に関する業務

#### (称号の付与)

第5条 室員に、次の各号に掲げる称号を付与することができる。

(1)医療人教育室教育教授

(2)医療人教育室教育准教授

(3)医療人教育室教育講師

#### (称号の付与手続)

第6条 称号の付与は、各教授会の意見を聴いて室長が行う。

(称号付与基準)

第7条 各称号付与の基準は、次に掲げる者で医療人教育に優れた能力を有するものとする。

- (1)医療人教育室教育教授 10年以上の医療人教育の経験を有する者又は特に優れた医療人教育の経験を有する者
- (2)医療人教育室教育准教授 6年以上の医療人教育の経験を有する者
- (3)医療人教育室教育講師 4年以上の医療人教育の経験を有する者

(雑則)

第8条 この内規に定めるもののほか、医療人教育室に関し必要な事項は、各教授会の意見を聴いて室長が別に定める。

附 記

この内規は、平成18年10月18日から実施する。

附 記

この内規は、平成19年4月1日から実施する。

附 記

この内規は、平成23年6月15日から実施する。

附 記

この内規は、平成25年6月19日から実施する。

附 記

この内規は、平成25年9月25日から実施する。

附 記

この内規は、平成26年3月19日から実施する。

附 記

1 この内規は、平成28年1月1日から実施する。

2 この内規実施後、最初に選出される室員の任期は、第3条の規定にかかわらず、平成28年3月31日までとする。

附 記

1 この内規は、令和元年11月27日から施行し、令和元年10月1日から適用する。

2 この内規の施行日の前日において改正前の第2条第1項第3号の室員であった者は、この内規により医学部教授会又は薬学部教授会から選出されたものとみなす。ただし、任期については、第3条の規定にかかわらず、令和2年3月31日までとする。

## II 各分野からの報告

### 「よき医療人」となるために

医学科教務委員長 西丸 広史

富山大学の医学部医学科に入学した一年次生は、まず生命科学や語学などの教養科目を学修すると同時に、専門教育科目として、「医療学入門」を履修します。この科目は、今後医療のプロフェッショナルとなっていくのに必要な、基本的な医療倫理、ヒューマニズムならびにプロフェッショナリズム、病者－医療者の信頼関係、医療と地域社会との関わりについて総合的に理解し、病む人の心を理解し共感をもって温かく接することのできる医療人としての基本的態度を修得することをねらいとしています。そのために、将来チーム医療の担い手になることを念頭に、医学部と薬学部の全4学科の学生が共通の経験をすることで、職種間連携についてイメージできるようにシラバスが組まれています。

まず、4月初旬に本邦における日本の四大公害病の一つと言われるイタイイタイ病について、富山県立イタイイタイ病資料館を合同で見学したのを皮切りに、4月下旬に医療系4学科グループワークで、それまで面識のない学生同士が同じテーマをもとに考えをまとめることにより、そもそも連携に必要なコミュニケーションとはどのようなものなのか、を考える機会を設けています。ここでは、6名のグループに分かれて、意見を交換し、まとめていくことでグループ内での自分の立ち位置を確認し、話し合いの楽しさと難しさを実感したようです。

その後、5月連休明けに「心肺蘇生講習」と「野外実習（立山室堂）」を行いました。前者は、救急救命士から心臓マッサージや人工呼吸の講習を受けて心肺蘇生の実際を学ぶことで医療を学ぶ場に来たことを実感し、後者は規律正しい集団行動のなかで、学生と教職員間の親睦を深めました。特に県外からの入学者にとっては、悠大な立山の大自然に触れて富山で大学の生活を始めたことを実感できる貴重な体験になったようでした。

また、医療と社会との関係を理解することを目的として7月に医療と福祉の連携についての理解を深めるために、富山県内と近隣県の福祉施設、介護施設、医療施設での介護体験実習を行いました。実習前に行ったアンケートでは、約9割の学生が介護体験を行ったことがなく、実際にどのような内容の実習を行うのかイメージがつかず、施設内でどのようなコミュニケーションをとるべきなのかわからないという不安を感じる学生も見られました。しかし実習後のアンケートでは、多くの学生から、意欲的・積極的にこの実習に取り組み、職員や入居者とのコミュニケーションをとることができるようになった実感があったという回答があり、地域福祉の現場の実際に触れて、とても貴重な体験になったという声も聞かれました。

今後も「医療学入門」で学び触れた「よき医療人」になるための姿勢を忘れずに医学を学んでいけるよう、医学科教務委員会として協力して参ります。

## 薬学生と「医療学入門」

薬学部教務委員長 宗 孝紀

「医療学入門」は、医療学概論、イタイイタイ病資料館の見学、医療系4学科による合同グループワーク、心肺蘇生の講習、立山室堂での野外研修、医療倫理や医療と社会をテーマとした実務経験豊富な教員による講義、そして介護体験実習で構成されています。薬の専門家を目指して大学で学び始めた薬学部1年生に、多くの学びと気づきを提供する授業です。

特に介護体験実習は、病院、特別養護老人ホーム、デイサービス、障害者施設などで実施され、薬学部の学生は介護の現場を体験しながら、以下のような気づきを得て、人間の尊厳や医療人としての在り方を考察しました。

### 1. 「生きる」ことの意味を考える体験

難病患者や高齢者の日常に触れ、食事・排泄・入浴など基本的な生活行為が困難な現実を目の当たりにしました。これにより、人間が「生きる」とは何か、生活の質（QOL）を守ることの重要性を深く考える契機となりました。

### 2. コミュニケーションの難しさと工夫

認知症や障害により言語での意思疎通が難しい利用者との関わりを通じて、非言語的コミュニケーション（表情、ジェスチャー、声掛けなど）の重要性を学びました。「会話を続けることだけがコミュニケーションではない」という気づきを得ています。

### 3. 当たり前が当たり前でない現実

健常者にとって当然の行為（歩く、食べる、話すなど）ができない状況を体験し、「不自由さ」を理解しました。これにより、介護は単なる身体的支援ではなく、尊厳を守りながら生活を支える営みであることを実感しました。

### 4. 医療・介護の連携の重要性

実習を通じて、薬剤師を含む多職種（医師、看護師、介護士、栄養士、理学療法士など）が情報共有し、患者中心のケアを行う「チーム医療」の重要性を学びました。服薬支援や薬の形状変更など、薬剤師の役割も介護現場で不可欠であることを理解しました。

### 5. 超高齢社会の課題を体感

日本の高齢化率の高さ、人手不足、職員の身体的・精神的負担など、介護現場の深刻な課題を実習で実感しました。これらは、現在の日本が抱える重要な社会問題であり、医療人として解決に向けた視点を持つ必要性を認識しました。

### 6. 「良き医療人」とは何か

以上の体験を通じて、「良き医療人」とは、専門知識や技術だけでなく、患者の尊厳を守り、生活に寄り添う姿勢を持つ人であると考えられるようになりました。観察力、コミュニケーション力、倫理観、柔軟な対応力が不可欠であると結論づけています。

このような貴重な学びを学生たちに提供できたことに、関係者の皆様のご協力に心より感謝申し上げます。今後も、学生が勉学をさらに深め、患者の心に寄り添い、共感を持って温かく接することのできる、日本の医療を担う「良き医療人」となれるよう、引き続き尽力してまいります。

## 医療学入門と看護学教育

看護学科教務委員長 西谷 美幸

看護学科にとって医学部・薬学部合同で学ぶ「医療学入門」の授業は、医療人としての「頭づくり」の土台を担っています。ともに医療をめざす仲間たちと、医療人としての考え方、チームとしての相互理解、協働、そして医療を受ける当事者の思いに触れ相手の立場を理解することの意味を考えさせてくれるプログラムです。その上で、医薬系の学生チームとして医療・福祉の現場に体験実習として参加することができ、看護のみのプログラムでは果たすことのできない初期体験として、医薬系の視点をもってともに学修内容を統合していくことができるものになっています。看護学科では、例年夏季に行われている「早期介護体験実習」の直前に「看護学原論」の授業が終了しますので、看護としての early exposure として位置づけ、それまで学修した視点をもって実習に送り出しています。

基礎看護学の立場からみると、「医療学入門」で医療人としての俯瞰した視点を携え、専門科目として看護の専門性に焦点を当てていくこととなります。まず「看護学原論」から始まり、そこでは、看護の本質から看護観・健康観・人間観等を示し、原理を踏まえた看護者としての捉え方を修得します。その履修後に実施される「介護体験実習」では、人々の生活の場に行き看護観等の視点をもって、施設で生活する人々の思いや実際の生活、支えとなる介護の実際を体験し、その体験を持って、看護観の表現技術である「看護方法論」の授業に入っていきます。看護を提供する上で生活への必要な技術となると、できないことへの援助技術となりがちですが、生活の場で暮らす生活者に合わせた介護の実際を体験することで、必要な人へ必要な方法で必要な範囲（過剰な援助にならない）で実施することが大前提であると理解しやすくなっていることを実感します。

学生の介護体験実習での学びを実習後のレポートから見てみると、「利用者やスタッフ間でのコミュニケーションの大事さと一人ひとりに合わせたコミュニケーションの難しさを実感した」「施設での生活の様子から、できることを大事にしてできる力を妨げずに介護することで、利用者が自分で生活できることが増えていく」等の内容がほとんどの学生から挙げられていました。一人ひとりの個人にはその人の長い生活があり、その中で得られた知恵を使い、今の自分と折り合いをつけて生きている姿に、学生は、大きく感性と理性を揺さぶられているようです。

毎年多大なご尽力で企画と運営をしてくださる先生方、ご協力していただいたすべての皆さまに感謝いたします。ありがとうございます。

### III 2025 年度活動報告

#### 1. 医療人教育

医療人教育室では、医学・薬学・看護学の1年生が合同で学ぶ「医療学入門」授業のカリキュラムプランニングを担当しています。医・薬・看護の各領域の実務家教員による講義とともに、新入生医療学研修や心肺蘇生講習、保健福祉介護医療施設における介護体験実習など、よき医療人としての基礎となる知識・体験が身につくようなカリキュラムとなるよう配慮しております。

また、学生に対し授業についてのアンケートを実施し、次年度のカリキュラム検討を行っております。

#### 2025 年度「医療学入門」授業内容

月日	ユニット	内容	講師・実施者
4月9日		イタイイタイ病資料館見学	協力教員・学務課職員
4月11日	医療学概論	医療学入門オリエンテーション 医療学概論	高村先生 医学部長・薬学部長・医学科長・看護学科長
4月16日(水)	新入生 医療学研修	新入生医療学研修オリエンテーション	新入生医療学研修タスクチーム
4月25日		医療系4学科グループワーク	新入生医療学研修タスクチーム、協力教員
5月9日		心肺蘇生講習	心肺蘇生講習タスクチーム、協力教員
5月10日(土)		野外研修(立山)	新入生医療学研修タスクチーム、協力教員
5月16日	医療倫理、 プロフェッ シヨナリズム、 コミュニケー ション、 医療と社会	医療倫理・プロフェッショナルリズムⅠ	医学教育学講座 教授 高村先生
5月23日		医療と社会	NPO法人ささえあい医療人権センター 理事長 山口様
5月30日		難病支援と難病患者の思い	富山県難病相談・支援センター 統括相談支援員 土肥様、患者様
6月13日		コーチング法	保健管理センター 教授 石木先生
6月20日		個人情報保護	医療情報・経営戦略部 教授 高岡先生
6月27日		あったか地域の大家族	NPO法人デイサービスこのゆびとーまれ 理事長 惣万様
7月4日		薬害再発防止のために	NPO法人ネットワーク医療と人権 理事 花井様
7月11日		医療倫理・プロフェッショナルリズムⅡ	北越地域医療人養成センター 特命助教 清水先生
7月18日	介護体験実習	介護体験実習オリエンテーション	医学教育学講座 特命助教 武島先生
8月25日～ 9月12日		介護体験実習(期間内1週間)	各施設
9月26日		介護体験実習事後グループワーク	医学教育学講座 特命助教 武島先生

## 2. 医療人教育室運営管理

### 1) 医療人教育室運営会議

#### 2025年度 医療人教育室運営会議内容

4月	・令和7年度 医療人教育室室員について
	・令和7年度 副室長の選任について
	・令和7年度 医療学入門日程について
	・令和7年度 心肺蘇生講習タスクチーム構成員について
	・令和7年度 新入生医療学研修タスクチーム構成員について
	・令和7年度 新入生医療学研修スケジュール（案）について
	・令和7年度 早期介護体験実習について
6月	・令和7年度 新入生医療学研修事後アンケート集計結果
	・令和7年度 心肺蘇生講習アンケート集計結果
	・医療人教育室 2024年度報告書について
	・令和7年度 早期介護体験実習について
	・ChatGPT等の出現による評価方法の検討について
7月 (メール会議)	・令和8年度 新教養教育科目「導入学修B」の成績評価方式について
10月	・令和7年度 介護体験実習（事前）アンケート集計結果
	・令和7年度 介護体験実習（事後）アンケート集計結果
	・令和7年度 介護体験実習（施設）アンケート集計結果
	・令和7年度 医療学入門アンケート集計結果
	・介護体験実習までに、学生がB型肝炎ワクチンの追加接種（3回、6か月間）を終えられないことについて
	・令和7年度 医療学入門成績評価について
	・介護体験実習の正当な理由なき欠席者の修了可否について
	・令和8年度「導入学修B」及び「医療学入門」日程について
12月	・介護体験実習施設との懇談会（11/10）について
	・令和7年度 介護体験実習報告書について
	・令和7年度 医療学入門成績判定（最終）について
	・介護体験実習までに、学生がB型肝炎ワクチンの追加接種（3回、6か月間）を終えられないことについて（感染症専門医への相談結果報告含む）
	・令和8年度「導入学修B」及び「医療学入門」講義日程について
	・令和8年度 イタイイタイ病資料館見学について
	・令和8年度 早期介護体験実習について
	・令和8年度 医療学研修タスクチーム構成員について
	・令和8年度 心肺蘇生講習タスクチーム構成員について
3月	・医療人教育室 2025年度報告書（案）について
	・令和7年度 医療人教育室支援経費 予算執行状況
	・令和8年度 イタイイタイ病資料館見学について
	・令和8年度「導入学修B」「医療学入門」講義日程について （B型肝炎ワクチンの追加接種の件を含む）
	・令和8年度 早期介護体験実習施設について
	・医療学入門ポートフォリオ返却時期について

## 2) 広報活動

- ・ ホームページにて活動案内
- ・ 2025 年度報告書の作成

## IV 2026 年度活動計画案

### 1. 医療人教育

#### 医療学入門の教科担当

- ・カリキュラムプランニング
- ・成績評価
- ・授業アンケート
- ・新入生医療学研修タスク支援
- ・心肺蘇生実習タスク支援
- ・早期介護体験実習タスク支援
- ・カリキュラムアンケート

### 2. 医療人教育室運営管理

- 1) 医療人教育室運営会議開催
- 2) 広報活動
  - ・ホームページによる広報活動
  - ・医療人教育室報告書の作成

富山大学（杉谷キャンパス）医療人教育室

---

〒930-0194 富山市杉谷 2630

TEL : 076-434-7488

E-mail : [hmhe@med.u-toyama.ac.jp](mailto:hmhe@med.u-toyama.ac.jp)